

令和7年度 第4回政策推進会議報告

日 時 6月19日 9時30分～10時00分

場 所 WEB 会議室

出席者 19人

1 「あまがさき観光地域づくり戦略」の策定に係る「市民意見聴取に係る施策の概要」及び「政策形成プロセス計画書」の公表について

経済環境局長から順に資料に基づき報告。(以下、質疑等)

(市長) 平成29年度に「尼崎版観光地域づくり推進指針」、平成31年に当該指針を踏まえた「重点取組地域における尼崎版観光地域づくり戦略」を策定し、観光に関する取組を進めてきた。当時は尼崎城を意識して策定した戦略であったが、現在はゼロカーボンベースボールパークの開設や忍たまなどの人気も考慮すると、より総合的に戦略を考え直す時期に来ていると思う。観光は、まちづくり・歴史文化・商業など多様な分野の総合力が魅力となると考えるため、局横断的な取り組みとして、政策推進会議のメンバーで「まちの魅力を上げるにはどうしたら良いか」という視点で取組を考えていきたいと思う。現在、兵庫県がデステネーションキャンペーンや兵庫テロワール旅など足を運んでもらえるようなキャンペーンを実施しているが、尼崎が観光地の「目的地」として、忍たまファンやタイガースの試合観戦への来訪は強みであるものの、一般的な街並みや自然を目的とした来訪についてはもっと魅力的な他市も存在する。しかしながら、大阪に来たついでに立ち寄る、あるいは宿泊場所としての機能は十分にあると考えているので、尼崎独自のビッグコンテンツで勝負するのではなく、他市との連携やネットワーク、人の移動などを意識した戦略が必要である。観光は難しい分野であるが、新たな戦略を今年度中に策定する必要があるため、各局の協力もいただき、あまがさき観光局の意見も踏まえながら進めていきたい。

2 その他

- 総合政策局長から第7回尼崎市文化未来奨励賞受賞記念 田中達也 日本画展の開催について説明。
- 総務局長から「船木顧問による職員育成ゼミ」のゼミ生(参加職員)の募集について説明。
- 総務局長から令和7年国勢調査 調査員の確保状況について説明。
- 経済環境局長から尼崎市観光PR動画の作成について説明。(以下、質疑等)
 - ・(デジタル政策監) 今回作成された観光PR動画は、イベント等で流すだけでなく、消防局のInstagramのような各局が持つSNSを活用して積極的に拡散することで、多くの人に動画を見てもらえるかと思うので、ぜひ各局の協力をお願いしたい。
- 都市整備局長から総合治水対策基本ガイドラインの改定について説明。(以下、質疑等)
 - ・(市長) 今回のガイドライン改定は、都市整備局と公営企業局が連携して分かりやすく整備したものであり、市全体の取り組みとして非常に重要であると認識している。例えば、県が武庫川の河床掘削、国が猪名川の堤防工事、市では庄下川の護岸・河床掘削をやっており、公営企業

局で雨水貯留管の準備など、ハード面の対策は進んでいるが、農地の宅地化や上流の開発が進むと、ハード対策だけでは不十分となる可能性がある。

治水は都市整備局や公営企業局だけでなく、まち全体でやっていくことが重要であることを市民に知ってもらいたいという意図がガイドライン改定にあると受け止めている。

学校の校庭貯留、各家庭での雨水タンク設置、公共施設の駐車場の浸透性化などの工夫が非常に大事であり、今後の公共施設の建て替えや新設の際には、このガイドラインの視点を設計に盛り込んでいただければと思う。

○教育次長から田能資料館前期企画展の開催（6月10日～9月7日）について説明。（以下、質疑等）

- ・（市長）田能資料館がアクセスしにくい場所にあり、学校の子供たちの来場が少ない状況である。学芸員の方々もおられて、アクセサリー作成など体験もできる場所なので、ぜひ各局の皆さまも足を運んで資料館を応援してほしい。

以 上